

千葉県救急医療等業務支援システム（救急搬送一斉照会システム） の運用状況について

令和6年1月

千葉県健康福祉部医療整備課

I 「救急医療等業務支援システム（救急搬送一斉照会システム）」の概要

- 内閣府のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、救急搬送時間の短縮を図るなど、迅速かつ適切な救急医療の提供を支援するツールとして、「救急医療等業務支援システム（救急搬送一斉照会システム）」を令和5年3月に導入し、試行運用している。
- 緊急性の高い傷病者等を迅速かつ適切な医療機関に搬送できるよう、救急隊から複数の救急医療機関あて、一斉に患者の情報伝達と受入可否を照会でき、受入可否等の結果一覧を、救急隊が閲覧・共有できる。

II 運用状況について

- 救急医療体制が県内各地域でも大きく異なることから、各地域 MC 単位で一斉照会システムの活用を依頼している。各地域 MC の状況は別紙のとおり。

III 将来的なシステム運用について

- 当該システムと、別システムであるちば救急医療ネット（千葉県救急医療情報システム）は、併用して令和6年度末まで運用し、令和7年度以降の両システムの在り方（統合や取捨選択等）を検討していく。

（参考）ちば救急医療ネットの概要

- 救急患者を医療機関へ搬送する一助として、救急医療機関の応需情報（受入の可否、空床の有無等）や消防機関の搬送状況などを相互に情報共有するシステムであり、一般県民向けに夜間・休日急病診療所などの情報提供も行っている。
- 昭和53年3月に運用を開始し数次にわたる更新が行われ、現行システムは平成30年4月から稼働している。
- 現行システムでは、応需情報の入力義務は廃止（努力義務）とし、三次救急医療機関（救命救急センター）で受入不可情報（ネガティブ応需情報）を入力するなどの運用をしている。

システム運用状況一覧表（2024/1/23時点）

MC	運用状況	MC内消防機関数	MC内医療機関数	参加医療機関数	運用方法
千葉MC	運用※1	1	27	12	一斉照会
東葛南部MC	運用	4	20	・八千代市:5 ・船橋市:7 ・習志野市:2	情報共有
東葛湾岸MC	運用	2	11	6	一斉照会
東葛北部MC	運用※2	5	27	17	一斉照会
市原MC	打診中	1	7	—	—
君津MC	運用予定	4	8	1	情報共有 (予定)
印旛MC	打診中	6	20	—	—
東部MC	運用※3	4	10	1	情報共有
山武長生MC	運用※3	2	10	1	情報共有
南房総MC	運用予定	2	10	1	情報共有 (予定)

※1 千葉市は、独自システムで運用中。

※2 東葛北部は、MC単位ではなく、5市消防で運用中。

※3 東部・山武長生は、期間限定の運用で現在停止中。